



■運用実績

サブファンド・ブロックチェーン・円ヘッジ無し・クラス

※2025年6月4日設定(設定時基準価格=100円)

NAV: 148.39円 純資産総額 238 百万円

サブファンド・ブロックチェーン・円ヘッジ無し・クラス 騰落率						
期間	1ヵ月	3ヵ月	年初来	1年	3年	設定来※
騰落率	9.62%	-17.52%	18.24%	36.70%	—	48.39%

サブファンド・ブロックチェーン・米ドル・クラス

※2025年6月4日設定(設定時基準価格=1ドル)

NAV: 1.34ドル 純資産総額 221 万ドル

サブファンド・ブラック・ブロックチェーン・米ドル・クラス 騰落率						
期間	1ヵ月	3ヵ月	年初来	1年	3年	設定来※
騰落率	8.06%	-17.79%	16.52%	26.42%	—	34.00%

■基準価格推移(2025.6.30~2026.8.31)

サブファンド・ブロックチェーン・円ヘッジ無し・クラス



サブファンド・ブロックチェーン・米ドル・クラス

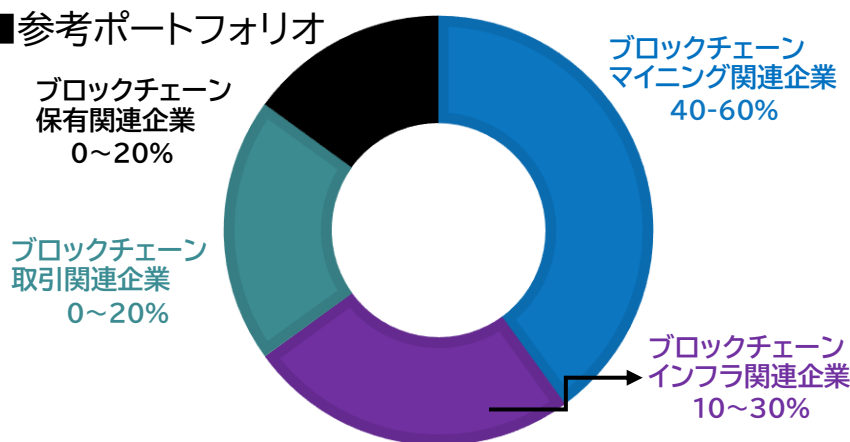


過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。本資料は4枚ものであり、最終頁の重要事項/投資目的及びご投資にかかる主なリスクをご確認ください。お申込みの際には、投資信託説明書(目論見書)などで必ず詳細をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■ファンドの特色

- 1) マスターファンドを通じて、ブロックチェーンテクノロジー企業の株式等に投資します。
投資対象は主に、主要なブロックチェーン・エクイティ指数に採用された企業群を中心に銘柄を選択します。当初は、ブロックチェーンテクノロジーに関連した、4つのセクターにフォーカスした銘柄に投資することにより、信託財産の成長を目指します。
- 2) 定量分析を行い、機動的なリバランスを行います。
個別の企業株式は、株価の推移、出来高等の定量分析を日々行います。
それらのリバランスは、スーパーファンド独自の定量分析モデルにより決定されます。
- 3) 円ヘッジ無し・クラスと米ドル・クラスの2つのコースから、選択できます。
円ヘッジ無し・クラス：実質外貨建資産には、原則として為替ヘッジは行いません。
米ドル・クラス：米ドルにて投資を行います。

■参考ポートフォリオ



■ブロックチェーン技術の 日常生活での活用例



■組入上位10銘柄(2026年8月末)

データはSUPERFUND ASSET MANAGEMENT GMBHより取得

銘柄	国	銘柄説明	純資産比
サークル・インターネット・G	米国	グローバルな金融テクノロジー企業。ステーブルコイン関連事業	4.76%
ビットコイン・IM・TECH	米国	ビットコインマイニングに特化した技術企業	4.68%
コインベース・グローバル	米国	広範な暗号資産取引ができるプラットフォームを提供	4.02%
ギャラクシー・デジタル	米国	デジタル資産およびデータセンターインフラストラクチャ企業	2.81%
IRENリミテッド	豪州	100%再生可能エネルギーを利用したデータセンターを所有・運営	2.54%
ライオット・プラットフォームズ	米国	ビットコインマイニングとデジタルインフラ会社	2.17%
アプライド・デジタル	米国	北次世代デジタルインフラストラクチャーの設計、開発、運用を行う	2.13%
ハット8	米国	ビットコイン採掘・データセンター運営会社	2.13%
サイファー・デジタル	米国	産業規模のデータセンター建設及び運用会社	1.98%
フィギュア・TECH・ソリューションズ	米国	ビットコインマイニング施設を所有および運営	1.97%

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。本資料は4枚ものであり、最終頁の重要事項/投資目的及びご投資にかかる主なリスクをご確認ください。お申込みの際には、投資信託説明書(目論見書)などで必ず詳細をご確認の上、ご自身でご判断ください。

スーパーファンド・ジャパン:サブファンド ブロックチェーン お申込メモ

ファンド名称	スーパーファンド・ジャパン サブファンド:ブロックチェーン			資料請求 はこちら	
形態	記名式無額面受益証券(オープン・エンド型)				
クラス	円ヘッジ無し・クラス、米ドル・クラス				
発行日	お申込時に発行価格で発行された受益証券は、最終的に、当該発行日に係る評価日現在における当該クラスの1口当たりの純資産価額により、当該評価日に発行されるものとなります。				
発行価格	円ヘッジ無し・クラス(1口100円)、米ドル・クラス(1口1.00USD)				
申込単位	最低投資口数 5,000口(500,000円又は5,000USD)以上、100口単位 但し、月末最終評価日のお申込においては、最低投資口数1,000口とします。				
申込期間	2026年7月1日から2027年6月30日迄(申込期間は、有価証券届出書の提出により毎年更新されます)				
申込締切期日	各評価日(週次)の2ファンド営業日前まで				
購入代金	投資者は、お申込締切日である各評価日(週次)の2ファンド営業日前までに、申込金(申込手数料含む)をご送金いただきます。				
申込評価日等 参考例	お申込締切日 X-2営業日	評価日 X	基準価額公表予定日	祝日等により、 日程が変更されることがあります。詳細は、 お問合せください。	
	2026/9/28(月)	2026/9/30(水)	2026/10/13(火)		
	2026/10/2(金)	2026/10/6(火)	2026/10/19(月)		
	2026/10/8(木)	2026/10/13(火)	2026/10/23(金)		
	2026/10/16(金)	2026/10/20(火)	2026/10/30(金)		

■ サブファンド:ブロックチェーン (当ファンド)のレベルにおける手数料及び報酬等

申込手数料	申込金額に 3.30%(税抜3%) の申込手数料率を乗じた額		
買戻手数料	受益証券の買戻請求が当初の申込時から12ヶ月以内になされた場合または強制買戻しが当ファンドによってなされた場合、当ファンドより当該買戻しを請求された受益者に対して、管理会社と協議した受託会社の裁量により、換金(買戻)価額の 2% 相当の換金(買戻)手数料が課される場合があります。この場合、換金された手数料相当額は当ファンドの資産として留保されます。		
代行協会員報酬	純資産価額の 年率0.1%	事務管理報酬	サブファンドにつき年間約5,400米ドル
販売会社報酬	純資産価額の 年率1.0%	受託会社報酬	サブファンドにつき年間11,000米ドル

■ ケイマン籍マスターファンドのレベルにおける手数料及び報酬等

管理報酬	純資産価額の 年率1.5%	事務管理報酬	分別ポートフォリオにつき年間12,600米ドル
成功報酬	純資産価額の増加額のうち、 10% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用)		

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。本資料は4枚ものであり、最終頁の重要事項/投資目的及びご投資にかかる主なりスクをご確認ください。お申込みの際には、投資信託説明書(目論見書)などで必ず詳細をご確認の上、ご自身でご判断ください。

重要事項/投資目的: 外国籍公募投資信託:スーパーファンド・ジャパン サブファンド:ブロックチェーン(以下「当ファンド」)は、価格変動性を伴う金融商品です。当ファンドは、マスターファンドへの投資を通じて、実質的には主として株式市場に上場された個別銘柄に投資しますので、これらの価格変動等により、当ファンドの1口当たりの純資産価額が投資元本を割り込む場合があります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資家(受益権者)の皆様に帰属します。投資信託は金融機関の預金と異なり、預金保険の対象ではありません。

当ファンドは、投資するマスターファンド(その分別ポートフォリオ)が、その資産を直接市場で運用します。スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC(スーパーファンド・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオ)の投資目的は、世界各地のブロックチェーン・テクノロジーに焦点を当てる株式、証券、その他の証券及びファンドに主として投資することにより、投資目標であるブロックチェーン関連事業の実績における高いシェアの獲得を達成することです。当該投資は、ブロックチェーンのエコシステムに参加する若しくは参加する可能性のある上場企業に対してなされます。かかる企業は、公的に認識されている1つ以上のブロックチェーン・エクイティ指数を構成する企業でなければなりません。

当該マスターファンドは、マスターファンド投資顧問会社が随時選定する特定のトレーディング・ソフトウェアを用いてトレーディング・シグナルを導入することにより、上記目的の達成に努めます。当該ソフトウェアはマスターファンド投資顧問会社によって管理されます。トレーディング・ソフトウェアは、トレンド及び市場の変動によって生じる魅力的な投資機会を識別するため、世界の金融市場からのデータを継続的に分析します。

マスターファンド(スーパーファンド・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの場合)は、ブロックチェーン・テクノロジーに関連する証券につき多様なポートフォリオを維持することを目指しています。投資目標を達成するため、マスターファンドは実質価値を保護し、投資によって収益を生むための施策を講じることができます。マスターファンド内の資産クラスのウェイト付けは、マスターファンド投資顧問会社によって決定されます。当該時点の経済及び金融市場の状況並びに金融市場商品の流動性、安全性及び収益性が、判断材料として用いられます。さらに選定基準には、例えば企業の時価総額、市場規模、市場の勢い及びその他のテクニカル指標も含まれる可能性があります。

マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。

主なリスク

- **価格変動リスク:** 様々な要因による株式市場及び株式個別銘柄の変動を受けて、当ファンドの純資産価額は短期的または長期的に大きく下落し損失が生じるおそれがあります。特に、いわゆるIT分野に対するマーケット環境や暗号通貨の価格変動を要因として、純資産価額の大きな変動が起こる可能性があります。
- **金利リスク:** 金利の下落により受け取る金利収入が減少、また、金利の上昇により保有する公社債の価格が下落する可能性があり、このような金利変動の影響を受けて純資産価額が下落し、損失が生じるおそれがあります。
- **信用リスク:** 組入公社債の発行体等の経営・財務状況の変化等により、利金を支払えなくなったり、償還が予定通りに行われなかったりすることで、純資産価額に損失が生じるおそれがあります。
- **為替リスク:** 当ファンドのサブファンドは円建て及び米ドル建てです。また、円もしくは米ドル以外の外貨建資産に投資する場合もあり、当該外貨の為替レートの変動により基準価額が下落し、投資元本を割り込むことがあります。
- **暗号資産の価格変動から影響を受けるリスク:** 暗号資産の価格変動はブロックチェーン・テクノロジー企業の株価にも影響する可能性が高く、純資産価額の変動にも影響を与える可能性があります。

本資料は、スーパーファンド・ジャパンの代行協会員が作成したものであり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。本資料に記載されている情報は、信頼性が高い情報源よりまとめられたものですが、情報に関する正確性、完全性、信頼性を保証するものではなく、将来の運用成果、市場環境の変動等を保証するものでもありません。また、シミュレーション結果による指数は分析時の見解に基づいたものであり、これらの指数が変更されても本資料を再発行する義務はありません。本資料に記載されている情報等の利用により生じた損害等に対し、当社は一切責任を負いません。当ファンドのお申込みをご検討の際には、必ず目論見書などの詳細をご確認いただき、お客様ご自身でご判断ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求 又は その他お問い合わせ先

代行協会員兼販売会社
スーパーファンド・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第98号
加入協会 日本証券業協会 日本投資者保護基金



又は、スーパーファンド・ジャパン株式会社
を所属証券会社とする金融商品仲介業者
へお問い合わせください。

